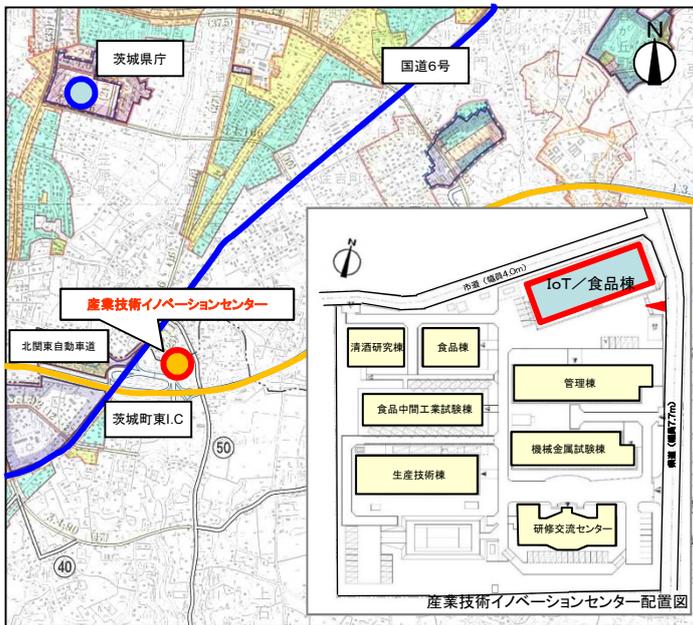


IoT導入促進・食品産業支援等による**中小企業の競争力強化** —産業技術イノベーションセンターIoT/食品棟—

産業技術イノベーションセンターIoT/食品棟の概要

企業の新製品・新技術開発及び人材育成を支援し、県内中小企業の競争力の強化を目指すために、産業技術イノベーションセンター敷地内にIoT/食品棟を整備しました。
これにより、中小企業へのIoT導入促進、ロボット関連部品やセンサーなどの研究開発のほか、日本酒や納豆、漬物などの発酵食品の開発などへの支援の強化が図られました。

所在地：茨城県長岡地内
整備期間：平成29年9月～平成30年3月
構造：鉄骨造
階数：2階建
延べ面積：1,650.33㎡



IoT/食品棟 南東側外観

IoTとは

Internet of Thingsの略。コンピューターなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することで、情報収集・交換、分析などを可能にする仕組み。例えば、工場の設備にセンサーや通信機器を付けることで、設備の稼働状況の情報を把握・分析することが可能となり、その結果、生産効率を高められることなどが考えられます。

IoT

IoTやロボット関連の新製品開発とその導入促進への取組を支援。



IoT実証室

研究風景

3Dものづくり実験工房

食品

食品開発のための加工から試験、分析、輸出拡大までを支援。



食品試作室

食品加工試作工場

味・香り分析室

模擬スマート工場を用いて、IoTロボットを活用した作業の自動化や設備の稼働状況の見える化などについて実証実験や企業の実習研修を行います。

納豆試作、レトルト加工、煮詰め加工などの試験や技術移転のための研修などを行います。